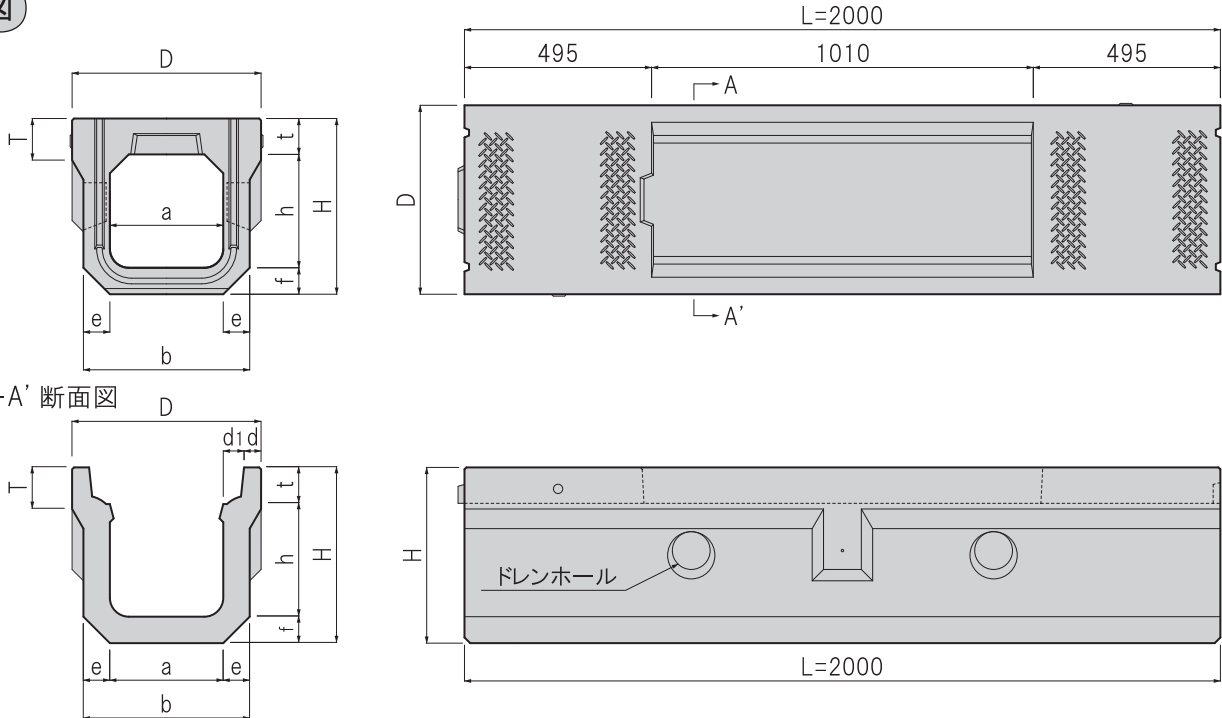


特長

- 1 防音構造になった落蓋側溝なので、ゴム等の緩衝材が不要です。
- 2 MSR側溝(可変側溝)に切替え接合が可能です。
- 3 側面にドレンホールを設けてあるので引込みパイプの取付けに便利です。

標準図

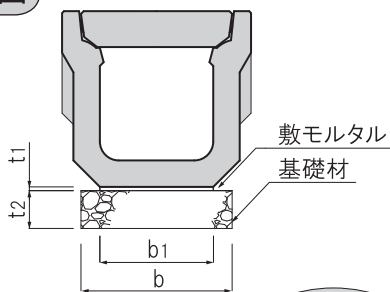


■A-A' 断面図

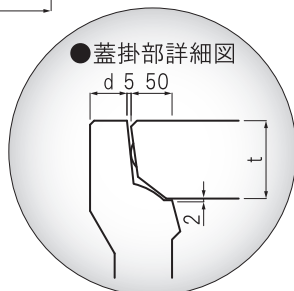
規格表

呼び名 a×h	寸法(mm)										参考重量(kg)	
	D	H	T	t	e	f	b	d1	d	L=2000	L=1000	
300×300	500	465	110	95	70	70	440	55	45	480	240	
300×400	500	565	110	95	70	70	440	55	45	546	273	
300×500	500	675	110	95	80	80	460	55	45	612	341	
400×400	610	580	120	110	70	70	540	55	50	632	316	
400×500	610	690	120	110	80	80	560	55	50	767	384	
500×500	720	705	140	125	80	80	660	55	55	867	434	
600×600	830	840	140	125	100	100	800	55	60	1237	618	

施工図



●蓋掛部詳細図



材料表

呼び名	b (mm)	b1 (mm)	t1 (mm)	t2 (mm)	(10m当り)	
					敷モルタル (m ³)	基礎材 (m ²)
300×300	400	300	30	100	0.09	4.0
300×400	400	300	30	100	0.09	4.0
300×500	400	300	30	100	0.09	4.0
400×400	500	400	30	100	0.12	5.0
400×500	500	400	30	100	0.12	5.0
500×500	600	500	30	100	0.15	6.0
600×600	700	600	30	100	0.18	7.0

※蓋版はMXR蓋を使用します。P77のMXR蓋を参照してください。

分類

側溝類

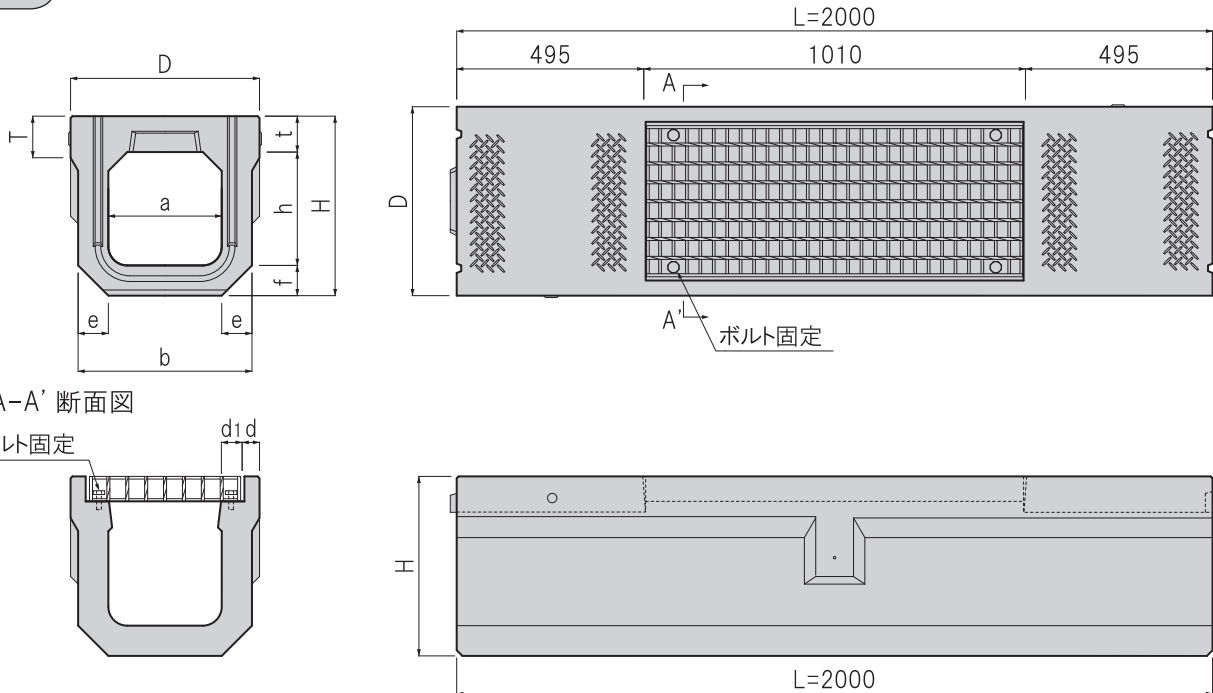
品名

CRV側溝

備考

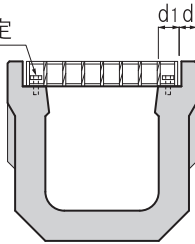
(横断用：T-25)

標準図



■A-A' 断面図

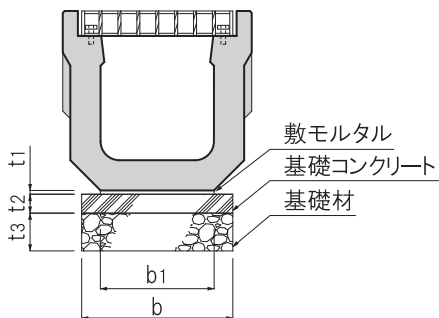
ボルト固定



規格表

呼び名 a×h	寸法(mm)									参考重量(kg)	
	D	H	T	t	e	f	b	d ₁	d	L=2000	L=1000
300×300	500	475	110	95	80	80	460	55	45	528	307
300×400	500	585	110	95	90	90	480	55	45	659	349
400×400	610	600	120	110	90	90	580	55	50	756	440
400×500	610	710	-	110	105	100	610	55	50	940	530
500×500	720	725	140	125	100	100	700	55	55	1022	597
600×600	830	850	140	125	115	110	830	55	55	1380	795

施工図



材料表

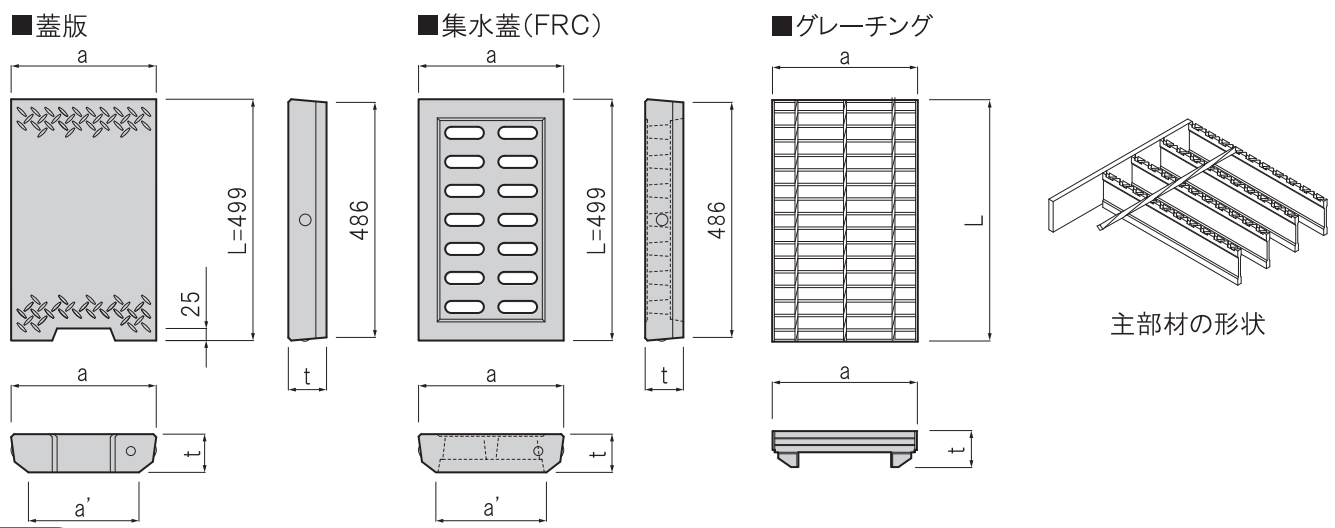
(10m当り)

呼び名 a×h	b (mm)	b ₁ (mm)	t ₁ (mm)	t ₂ (mm)	t ₃ (mm)	敷モルタル (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)
300×300	400	300	30	50	100	0.09	0.20	4.0
300×400	400	300	30	50	100	0.09	0.20	4.0
400×400	500	400	30	50	100	0.12	0.25	5.0
400×500	500	400	30	50	100	0.12	0.25	5.0
500×500	600	500	30	50	100	0.15	0.30	6.0
600×600	700	600	30	50	100	0.18	0.35	7.0

特長

- 1 防音構造になった蓋なので、ゴム等の緩衝材が不要です。
- 2 スリップ防止のため、表面に縞鋼鉄の模様がついています。
- 3 FX側溝、MSR側溝、CRV側溝、CC側溝の蓋として使用できます。

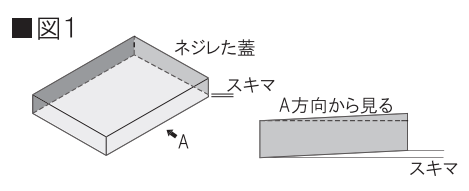
標準図



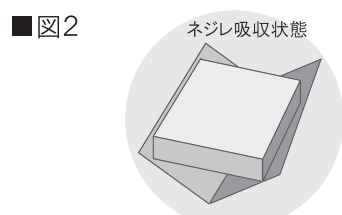
規格表

呼び名	寸法 (mm)											参考		
	コンクリート蓋				集水蓋				グレーチング蓋			FX側溝	MSR側溝 CRV側溝 CC側溝	MSR側溝
	a	a'	t	参考重量 (kg/枚)	a	a'	t	参考重量 (kg/枚)	a	t	参考重量 (kg/枚)			
3025	300	223	80	25	300	223	80	16	300	80	L=995: 23.2 L=498: 12.1	300用	-	-
4030	400	323	95	41	400	323	95	25	400	95	35.8 18.3	400用	300用	-
5040	500	423	110	60	500	423	110	38	500	110	51.2 26.2	500用	400用	-
6050	600	523	125	83	600	523	125	50	600	125	70.4 34.0	-	500用	-
7060	700	623	140	109	700	623	140	63	700	140	92.1 47.3	-	600用	700用
8070	800	723	150	136	-	-	-	-	800	150	112.6 56.2	-	-	800用
10090	1000	923	170	197	-	-	-	-	1000	170	125.2 62.4	-	-	1000用

column 【画期的な“線接触”セオリー】

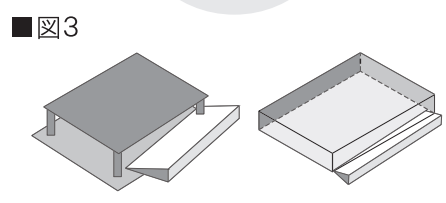


56ページで触れた騒音の原因である“ネジレ・曲がり”をいかにして克服するか？製品の完全な平面化が技術的に困難である以上、それを吸収するよい方法はないか？こうして研究を重ねた結果が、以下に述べる「RV理論」なのです。



ネジレ、曲がりの吸収

コロンブスの卵の発想で開発されたのが“線接触”の理論。(図2)のように、蓋を“水平面”で受けるのではなく、“斜面”を設置することで“線”で受ける。このことで、不安定な“点接触”をさけることができます。これは(図3)のように、4本足の1本が短い場合に、クサビを入れてスキマをなくすのと同じ原理なのです。



優れた安定性

このように、RV理論は、V面でネジレを吸収し、R面との線接触を図ることで、蓋と側溝の接点を最低4点確保。スキマがなく、騒音が発生しない施工を可能としました。